



同友会の活動
はこちらの
QRコードか
らご覧いた
だけます。▶



8

2021年
月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp



七月十二日(月)・十三日(火)の二日間、前橋問屋センター会館を会場に「二〇二一新入社員フォロー研修会」を開催。二十三社より三十六名、経営者側を含めて約七〇名の参加となりました。

一日目は「この三ヶ月間を振り返ろう」をテーマに、「目的

と目標の違い」や「マナーの確認」の講義、先輩社員五名による「バネルディスカッション」などを実施。また、「今の悩みと解決法」では、経営者側もグループに加わって研修生一人ひとりの悩みに親身になってアドバイスを送りました。

二日目は「今後の仕事への向き合い方を考えよう」をテーマに、

社会人基礎力が重要となる「プロックゲーム」や「傾聴と合意形成」来年三月までにこれができるよう社会人一年目は上出来」の講義と、それに基づくグループ討論で活発な意見が交わされました。

受講生が記した研修レポートと経営者側の感想(抜粋)を左記に掲載します。

〔研修生〕

○自分の目的・目標を明確にして、会社から求められる人財に成長していきたい。

○失敗を恐れずに一歩踏み出す力を身に付け、会社の発展に貢献できるよう努力したい。そして、上司や先輩から信頼される人間になることを目指す。

○この二日間で自分に足りないもの、自分のすべきことが分かった。春の研修も改めて復習し、今よりもっと成長した姿を先輩たちに見せていけたらと思う。

○悩みの相談ができて、とても気持ち良くなった。同じ社会人一年目の悩みは共感できる部分も多く勇気づけられた。

○今回の学びを実践し、数年後に格好良くなった状態で研修に参加した同期の皆と会いたい。

〔経営者〕

○研修生同士がお互いの変化を

認め合う場面を見たときに、この研修の意義さ、研修を続ける必要性を改めて感じた。

○やればできる!どう対応すれば自立した社員に成長するかを経営者が学び、考える必要性を痛感した。

○驕らず怠けず迷わずに、進むべき道に光を与えてあげることが私たちの役目と強く感じた。



社員と経営者が共に学び合う!

2021 新入社員フォロー研修会

経営指針をつくる会 オリエンテーション

経営労働部会



七月二日(金)、同友会事務所・会議室(Zoom併用)を会場に「第二十六期経営指針をつくる会オリエンテーション」を開催。いよいよ八月からスタートする今期の「つくる会」の前に、その理解と参加判断の機会として企画・設営されました。

はじめに「同友会がめざす経営指針とは？」と題して、(株)アイテックス・戸塚氏(経営労働部会長)が経営指針の全体像と作成意義を報告。続いて「経営指針作成で我が社はこう変わった！」と題して、(有)マルニ

精機・関口氏(富岡安中支部)が、初めての参加以来、経営指針をつくり続けることで会社が変わっていったかを時系列で紹介しました。最後に「開催概要・カリキュラムの説明」として、(有)小板橋産業・小板橋氏(経営指針委員長)が、全六講のカリキュラムと各講におけるポイントを語りました。

三名の熱のこもった報告により、その場で数名が「つくる会」への参加を表明。今期の「つくる会」も盛会が予想されます。

来春からパワハラ防止法の 適用開始

桐生支部6月例会

六月二十八日(月)、Zoomミーティングを使用したオンラインで「桐生支部六月例会」を開催。コミュニケーションサポート・齋藤由起子氏(桐生支部)が「社内コミュニケーションの再構築」(二〇二二年四月パワハラ防止法が中小企業に適用開始)」と題して報告しました。

二〇二〇年六月から「職場に

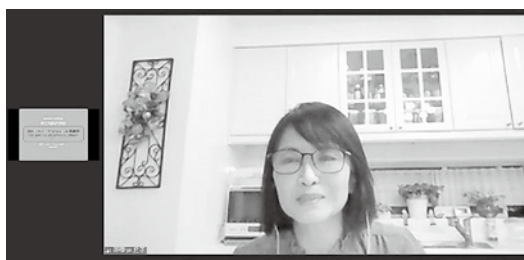
おけるハラスメント防止対策」が強化されました。中小企業では二〇二二年四月から義務化となるため(それまでは努力義務)、早めの対応が求められています。

齋藤氏は、パワハラの種類や事業主の義務、職場で発生した場合のデメリットなどを簡潔に紹介。パワハラを防止するためには「正しい知識を持つ」「人権を尊重する」「アンガーマネジメントができる」の三つを、上位職だけではなく全社員が理解する必要性があることを指摘しました。

また、パワハラ防止に向けた風通しの良い職場づくりの初めの一步として「価値観の共有ワーク」の実施を推奨。「全社員にやってもらうことで、いかに一人ひとりの優先順位が違うかが分かる。その違いをすり合わせて理解し合うことがとても大事」との認識を示しました。その他にも専門分野であるアンガーマネジメントを軸に、感

情が生まれるメカニズムやコントロール法、自身の思考の癖に気づく重要性などを紹介した齋藤氏。最後に「コミュニケーションの再構築(価値観の共有)がパワハラ防止につながっていく。皆で心理的安全な職場づくりをめざしましょう」と参加者に呼び掛けました。

報告後は「社内コミュニケーションの再構築」をテーマにグループ討論を実施。「世代間のギャップを埋め、それぞれの個性が活きる企業づくりを進めたい」「価値観の共有と共通のルールづくり。どちらも不可欠な要素と思う」「外部の方(第三者)の力を必要に応じて借りるのも有効な手段」など、活発な意見が交わされました。



コロナ不況を乗り越える人財育成

高崎支部6月例会

六月二十九日(火)、ビエント高崎(Zoom併用)を会場に「高崎支部6月例会」を開催。金属加工業・精密機械加工業の(株)山岸製作所、代表取締役・山岸良一氏(高崎支部)が報告者を務め、「コロナ不況を乗り越える人財育成」大変なときこそ新たな挑戦のチャンス!」をテーマに、社員教育や組織づくりなどの経営実践を語りました。

また、今期の経営計画・中期経営計画・一〇年ビジョンは「事業承継プロジェクトのメンバー(幹部社員)が中心になって作成した」という同社。最後に山岸氏は「経営者は社員のやる気にスイッチを入れる。そして、そのシステムを皆で一緒につくる。社員さんに心から感謝」と語り、報告をまとめました。

山岸氏は「新型コロナの感染拡大前から苦境は始まっている

その後、現状分析に基づく自社の問題点を改善するために「毎週各工場での朝会」「幹部社員に経営者意識を持つても



らうための事業承継プロジェクト」「次世代の班長・リーダーを育成する社長塾」などの具体的な取り組みを紹介。中でも社長塾では「行き当たりばったりの教育ではなく、山岸流のオリジナル教科書を作成。教え方を標準化して勉強を進めている」とし、財務やコミュニケーション、人の扱い方などの研修内容を詳細に説明しました。



報告終了後は「自社の人財育成」をテーマにグループ討論を実施。「業種・業態の違いはあるものの、自社の教育体制の弱さに改めて気づかされた」「教育は投資。時間と費用が必要で、やることとやめることを考えるべき」「教育する側とされる側が目的を共有していなければ意味がない」など、各グループで活発な意見が交わされました。

共同求人活動の本質を知る

渋川吾妻支部6月例会

六月二十三日(水)、ホワイパークを会場に渋川吾妻支部6月例会が初のZoom併用で開催されました。

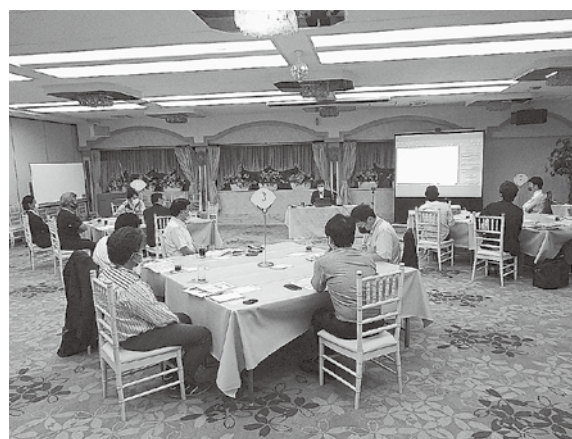
今年度の支部方針「つながりを広げよう!」に基づく第一弾

として、共同求人部長をつとめるマルシン産業社長の提箸康裕氏を報告者に迎え、現在の共同求人部会がどのような考え方で、実際にどのような活動を展開しているかを伺い知る機会となりました。

提箸氏は冒頭、「そもそも皆さんにとって同友会ってどんなところでしょう?」という投げかけからスタート。そして同友会理念

の実現をめざすために様々な活動が展開されており、その一つが共同求人活動であることへの理解を求めました。

現在は採用活動の前にやるべきこととして、若者や学校に中小企業が地域を支えていることや、地元の企業についてもっと知ってもらい、



目を向けてもらうことに注力している共同求人部会。提箸部長は最後に「ぜひ主旨をご理解の上、共同求人部会の活動に協力してほしい」と呼びかけました。

参加者からは、「部会だけでなく、同友会そのものの考え方を認識する機会となりました」「共同求人部会の活動は社会的に大変意義深いものであると理解しました」「求人とは採用活動だけでなく、土壌から育てることと実感しました」などの感想が述べられていました。

同友会オリエンテーション &新会員を知る会

富岡安中支部6月例会



六月二十五日(金)、ホテルアミューズ富岡を会場に富岡安中支部6月例会が開催されました(Zoom併用)。

今回は、ちょうど一年ぶりに「同友会オリエンテーション&新会員を知る会」が実施されました。

はじめに、四〇周年時に制作された群馬同友会の活動紹介DVDを上映。その後「同友会で学んだこと」と題して、ヒルズ伊勢崎社長の石原秀樹氏が体験報告を行いました。

石原氏は、活動に参加するなかでどんなことに気づき、会社をどう変えてきたかを具体的な事例をもとに報告。「自分からニーズを発すれば、ウォンツが現れる。念ずれば花開くです。

仲間に打ち明けられれば必ず答えが返ってくる。同友会はそんな組織だと思えます」と語りました。そして後半は新会員を知る

会。昨年のオリエンテーション以降に入会された五名(エムラボ・三枝社長、原田工業・西潟社長、コシバ電機・小柴社長、ハラダパーツ・原田社長、山富・原田社長)が、それぞれ長めの自己紹介を行いました。

参加者からは「同友会で学んだことを愚直に実践されている石原さんに感銘を受けた」「新会員の方々の人となりを知ることができ、仲間意識が強まった」「いずれ一人ずつ経営体験を披露してもらいたい」などの感想が多く綴られてました。

勘違いしていませんか? あなたの会社のキョウウイク

太田支部6月例会

太田支部では、六月十七日(木)、Zoomミーティングを使用し支部例会を開催。「勘違いしていませんか?あなたの会社のキョウウイク」すべてはあなたのアクションで変わる」と題して、群馬同友会共育部会長の川上機工(株)・吉池氏(高崎支部)、共育部会主催の社員研修会で講師を務めるPeducation・高屋敷氏(前橋支部)、新入社員向け研修会に社

員と共に参加した(株)ムラオカ鉄工所・村岡氏(太田支部)が、それぞれ報告する形で部会の取り組みを紹介しました。

吉池氏は、共育部会が開催する各種社員研修会の特徴をそれぞれ説明したうえで、自社における研修会の成果や課題などを紹介しました。また、同友会の共育について語る動画も展開し、その必要性を伝えました。

高屋敷氏は、同友会の社員研修会の良いところを「あり方が学べる。同期ができる。社員さんのリアルな声が聞ける」とまとめ、各階層別に作り上げられた研修プログラムの一端を披露しました。

村岡氏は、コロナ禍において時期をずらして開催となった「新入社員向け研修会」に参加して得た気づきを、コミカルにまとめたパワーポイントで紹介しました。参加者は笑顔で聞いていましたが、実際に参加したからこそ得られる説得力のある仕上がりで驚かされる内容でし



た。

参加者アンケートには「各種研修会を貴重な成長の機会として、積極的に参加していきたい」「社長も一緒に学ぶのはとても良い。三名の報告も分かりやすかった」「共育部会の活動がわかりやすく、実践された声を聞く事ができたのは良かった」との意見が多く記され、今後の共育部会の盛り上げを期待するばかりです。

強い組織の創り方

伊勢崎支部6月例会

六月二十二日（火）、プラザ・アリア（Zoom併用）を会場に「伊勢崎支部6月例会」を開



催。株識学、東京営業一課・池田泰司氏を講師に招き、「強い組織」の創り方／創業三年で上場した識学社の識学理論を解説し「をテーマにお話しいただきました。

識学は「意識構造学」という学問からとった造語であり、二〇年以上前に提唱された組織運営理論。池田氏は「全ての社長（リーダー）に必要な学び」と前置きした上で、組織運営に問題をもたらず誤解や錯

覚、その具体的な事例などを紹介しました。また、組織のリーダーが行うべき重要な役割として「ルールを明確に設定し、それをメンバーに認識させること」と参加者に訴えました。

講演終了後は「社員教育で失敗したこと、そこから学んだこと」をテーマにグループ討論を実施。「今日の講義の反対のことをずっとやっていた」「組織が個人に寄り添い過ぎるのは上策ではない」「モチベーションを与えるのではなく、自発的に持ってもらおう仕組みづくりが大事」など、活発な意見が交わされました。

復活！坐禅例会

前橋支部6月例会

前橋支部では六月二十四日（木）、如意寺（村田賢秀氏／前橋支部）を会場に、二年ぶりとなる坐禅例会を開催しました。

支部総会が終わり、今年度第一回目の通常例会となる本例会は、坐禅で気持ちを落ち着かせた後、二〇二〇年度を振り返るとともに新たな二〇二一年度の目標を立て、参加者と共有する事を目的に企画されました。

坐禅では、今までの坐禅例会ではさほど聞かなかった「警策の音」が何度も響き、その度に会場の空気が引き締められました。

振り返りと目標設定では、コロナによる自粛の影響なのか、自身の健康面を気にする目標設定が多かったように思います。

参加者アンケートには「目標設定にしても様々な考え方があ



り、興味深く聞くことができた」「自身の行動や考え方を振り返る時間が取れた。参加して良かった」といった感想が記されていました。

外国から見る日本の経済状況

沼田支部6月例会



沼田支部では、六月十六日（水）、司鮎を会場にZoomを併用し支部例会を開催。JACエンタープライズ、代表取締役・浅野秀二氏に講師を依頼し「経営比較 米国の食流通事情／外国から見る日本の経済状況」と題して、アメリカから報告していただきました。

浅野氏は冒頭で、コロナウイルスのアメリカでの現状をシャッター街になった様子など、自身で撮影してきた写真で紹介しました。

その後、日米の経営比較としてGAF Aと呼ばれるIT大手や、次なる成長企業群を例に挙

げながら「すばやい決断。走りながら考える」といった特徴を紹介しました。日本に対しては「物事に誠実に取り組む国民性は評価出来るが、決断が遅すぎる」と指摘しました。また、世界で活躍する日本人が増えてきたことも潜在能力の高さとして付け加えました。

参加者アンケートには「リアルな米国情報は刺激的かつおもしろかった」「リアルタイムの生きた情報は貴重」「浅野氏の実体験の話は参考になるものばかりだった」といった感想が綴られていました。

会員企業紹介

訪問
インタビュー

理事／高崎支部副支部長



(株)成電工業

代表取締役 瀧澤 啓 氏 (高崎支部所属)

今回は、高崎支部副支部長で今年度より理事となった(株)成電工業・瀧澤社長のもとへ伺いました。

▼会社概要

当社は一九五八年、(株)成電社として設立し、一九七一年に社内「ものづくり」部門を分社化する形で(株)成電工業となりました。また、二〇一五年に野菜の生産販売部門をNPO法人ソーシヤルハウスとして分社化しています。

事業内容は、生産工場向け制御システムの設計・製造・販売、LEDによる室内型野菜栽培装置の開発・製造・販売、野菜工場による障害者の就労支援サービス(NPO法人ソーシヤルハウス)です。制御技術と光技術を基盤として、時代のニーズに適合した製品やサービスの開発・提案をしています。

▼自己紹介

大学在学当時、起業を試みたことがありましたが、資金調達等に難航し断念しました。その時「父の会社を継ぎ、新規事業として始める方が手取り早いのでは」と思いつき入社を決めました。当時は父の会社の事業



内容さえ知らずにいたので、実際に身勝手な理由でした(笑)。誤解を恐れずに言うと、私は民主的な性格ではないと思います。意見の一致を待つより、自分で決断し、行動するタイプでした。最近は合意形成に重きを置くよう円くなりましたが、最終的な決断、特にリスクの伴う決断は「トップの責任で行う」という信条は変わりません。

▼同友会入会のきっかけ

他団体や地域の経営者組合から入会の誘いがありました。が、体験したうえでメリットを感じられず全とお断りしていました。ただ、同友会だけは別で、グループ討論に初めて参加した時、会員経営者の意識の高さに魅了されました。「自分自身と自社の成長に資する環境がここにはある」と入会を即決しました。

▼なぜ半導体から野菜工場を?

事業展開の可能性を追求するのは、経営者の当然の役割だと思います。始めから「野菜工場」や「障害者福祉」を目指したのではなく、制御技術やLEDの用途開発を試行錯誤する中で、たまたま行き着いただけで「成り行きに任せただけの結果」というのが正直なところではあります。

また、多角的な事業展開と捉えられますが、製造業も農業も福祉も、経営の本質は共通だと考えています。業種や業界を越境することで、自社の特徴や付加価値に改めて気づくこともできました。

▼社員の様子は?

会社の体質として「開発」よりも「請負」に慣れていたため、「開発メーカー型」の事業に戸惑う社員も多かったです。しか



し、戸惑いながらも付いてきてくれた社員が、事業の中核となり、主体的に新たな進路を切り開いてくれています。ここまでに十年かかりました。

▼会社・同友会それぞれの展望

昨年、経営理念を刷新しミッションを「社員が幸福な生涯を全うすること」としました。そのために「技術を高めること」「人として自己成長を遂げること」の二つを不可欠な要素に掲げています。この考え方を基に、誰もがやり甲斐を感じられ、楽しく働ける会社を目指します。

同友会は素晴らしい理念に基づいた活動です。しかし、その存在が地域社会にあまり認知されていません。とても惜しいことです。地域における同友会のプレゼンスがもっと高まれば、会としての展望は大きく開けてくると思います。

■取材の様子や紙面に載せられなかった質問なども、群馬同友会のHPに掲載予定。顔の見える広報誌を目指して今日もどこかで取材中!

所在地／高崎市上豊岡町571-9
連絡先／TEL 027-343-5111
URL／http://www.seidenkogyo.co.jp/

会員たんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【こんにゃくで代替肉】

茂木食品工業(株)

6月中旬、フランス・パリのスーパー店頭に、こんにゃく入り「代替肉」で作ったハンバーグが並んだ。輸出したのは群馬県下仁田町のこんにゃくメーカー、茂木食品工業(株)（代表取締役・茂木進氏／富岡安中支部所属）だ。

代替肉は植物性由来で、大豆を主な原料とする。本物の肉と比べ、環境に与える影響が少なかったり、ビーガン（完全菜食主義者）が食べられたりする。同社の強みはこんにゃくを混ぜ込んだ点だ。他社の競合商品と比べてカロリーが抑えられるなどの利点がある。海外市場でなじみの薄い伝統的なこんにゃくではなく、認知度が高まっている代替肉として売り込む。

販売価格は1パック（約150g）あたり7.75ユーロ（約1,000円）程度だが、今後は競合品並みの4～5ユーロまで小売価格を引き下げる目標を掲げる。茂木大悟経営戦略室長は「今夏にも専用の製造ラインを新設し、安く出荷できる体制を作りたい」と力を込める。

〔6／25付日経〕

【きらめく彫刻 渋川に群れる】

(株)出雲・ホワイトパーク

海の生き物を氷の彫刻で表現する「氷の水族館」が1日、渋川市石原の結婚式場ホワイトパーク内の「アイスワールド」で始まった。イルカやペンギン、イッカクなどの氷彫刻が並べられ、幻想的にきらめいている。

コロナ禍で県外の水族館を訪れにくい状況が続いていることから、地元で楽しんでもらおうと、式場を運営する(株)出雲（代表取締役・中野賢幸氏／渋川吾妻支部所属）が企画。同社スタッフら7人が1カ月半かけて80体ほど制作した。実際に触って楽しめる。

午前10時～午後4時。中学生以上千円、小学生500円、未就学児無料。水曜定休（祝日除く）。

〔7／2付上毛〕

【赤城公園にカフェ】

(株)エーアンドバイ企画

高付加価値な生ハムやソーセージを販売する「ヒュッテ ハヤシ」を運営する(株)エーアンドバイ企画（代表取締役会長・林さきみ代氏／前橋支部所属）は17日、前橋市

の県立赤城公園ビジターセンター内に「ヒュッテ ハヤシ カフェ」をオープンする。13日からお披露目会が開かれている。

県が県有施設の運営を一時的に民間事業者へ委ね、今後の可能性を探る市場調査「トライアル・サウンディング」の一環。

カフェは席数に余裕を持たせ、赤城の自然を見ながらゆったりと過ごせるようにした。赤城山をイメージしたブレンドコーヒー（400円～）や、赤城山で育った豚を使ったソーセージや野菜を使ったガレット（千円～）などを提供する。

林社長は「自然を眺めながら赤城山の恵みを楽しんでほしい」と呼び掛けている。

営業は木～日曜の午前11時～午後5時。問い合わせはとんとん広場（027-283-2983）へ。

〔7／14付上毛〕

【事故根絶誓う】

石川建設(株)

総合建設業の石川建設(株)（部長・石川貢氏／太田支部所属）は、工事現場の事故防止に向けた第45回安全大会を本社で開いた。従業員や協力会社の社員が事故の根絶を誓った。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出席者を50人程度に限定し、映像を中継した。石川社長は「本来なら千人が一堂に会して無事故を誓うところだが、今年はまだできない。各現場でもう一度、安全の重要性を認識してほしい」と呼び掛けた。

安全に工事を進めた協力業者や社員らを表彰した。

〔7／14付上毛〕

【所属支部変更】

(株)Y's Beauty、代表取締役・唐沢好彦氏（前橋支部所属）は、この度、「伊勢崎支部」に所属支部を変更しました。

【所属支部変更】

(株)MMG、代表取締役・福田大祐氏（前橋支部所属）は、この度、「伊勢崎支部」に所属支部を変更しました。

【代表取締役会長就任】

(株)サカト産業、代表取締役・坂戸純一氏（高崎支部所属）は、この度、「代表取締役会長」に就任しました。



環境を思う、未来を想う
あらためて誓う
上武印刷

優れた環境適応性。
より高精度で美しい仕上がりが
「水なし印刷」システム

「水なし印刷」は、湿し水を使用せず有害な廃液を0にし、その結果CO2を削減します。環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。

ムダな廃棄物を出さない。
必要な時に必要な部数を
オンデマンド印刷

オンデマンド印刷は、「必要な時、必要なだけ」の印刷でムダがなく、環境面で優れています。また、印刷コストを抑え、納期も短縮できます。

私たちは、環境にも、お客様にもやさしい企業を目指します。

群馬県環境GS認定事業所

上武印刷株式会社
〒370-0015 高崎市島野町890-25
TEL 027(352)7445(代) E-mail eigyo@jp-t.co.jp
FAX 027(352)2953(営業) URL http://www.jp-t.co.jp/

 FSC® C117851

今お使いの会計ソフトを
「未来を見る経営羅針盤」へ進化させる!!

クラウド予算実績管理ツール
YOJITSU
https://yojitsu.net/

同友会 高崎支部員 株式会社 **シスプラ** ☎ 0120-638-377

部 品 加 工 の 株式会社 **マテハン**

同 友 会 の 製 造 業 と 連 携 し て
北 関 東 機 械 加 工 セ ン タ ー を 目 指 し ま す。

ホームページで仕事の受注ができました。
好評「部品加工のマテハン」

従業員数 12名
代表取締役 島山 淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL 0276(37)4571
FAX 0276(37)4562

URL: http://www.kk-matehan.co.jp/
E-mail: mth@kk-matehan.co.jp

新会員
ご紹介7月度常任理事会承認
会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

G-ONE行政書士・社会保険労務士事務所 〒370-0844 高崎市和田多中町468 THE HRIN GARDEN B号室

TEL : 027-381-8015

FAX : 027-381-8187

建設業許可申請、経営事項審査・入札参加申請他、労働社会保険手続、就業規則作成、労務相談

代表
手塚 進
S59年生

【紹介者/猪瀬慶久】

はじめまして。この度同友会に入会させて頂くことになりましたG-ONE行政書士・社会保険労務士事務所の手塚進と申します。当事務所は建設業に特化したサービスで群馬でナンバーワンになることを目指しています。許認可の取得・労務管理がメイン業務ですが、お客様と共に発展したいとの思いからマッチングも行っております。同友会で経営の先輩方から学ばせて頂き群馬の企業を元気にしていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

NPO法人ソーシャルハウス 〒370-0871 高崎市上豊岡町580-9

TEL : 027-384-2282

FAX : 027-384-2351

就労継続支援B型事業、生活介護事業

施設長
新井 紳 介
S51年生

【紹介者/瀧澤 啓】

当法人は、障害者福祉サービス事業所を運営しております。障がいをお持ちであっても働きやすい環境とは?生活しやすい環境とは?を常に考えながら支援に取り組んでおります。同友会の皆様と交流することで横のつながりを太く且つ丈夫にできればと考えております。

第3回
理事会報告

日時 七月六日(火)

※今回の理事会も同友会事務所
とオンライン併用のハイブ
リッド開催となりました。

【議事】

員計二十六名)

戸塚副代表理事が議長をつとめ、田村代表理事挨拶のもと、第三回理事会開催。

I. 報告連絡事項

1. 各支部・部会・委員会等の
案内報告

各組織担当者より、案内報告
等がありました。

2. その他

理事会同日に開催された中同
協主催の「中小企業魅力発信月

間キックオフ行事」の概要が報
告されました。

II. 審議・承認事項

1. 入退会者承認と仲間づくり
について

前回理事会以降の入会者二
名、退会者二名を承認。会員数
は変わらず五二九名となりました。

III. 意見交換・その他

1. 意見交換

杉崎副代表理事が進行をつと
め、はじめに前回の学びをあら
ためて確認しました。

今回は、前回に引き続いて『同
友会運動の発展のために』を活
用し、役員のあり方や役員会の
運営、支部・部会・委員会活動
の位置づけ、対外的な関係づく
り等、会内組織の性格と役割に
ついて学び、グループ討論で深
め合いました。

2. 第四回理事会の開催確認

次回理事会を左記の通り開催
することが確認され、議長選出
は再度桐生支部に依頼しまし
た。

■日時/八月三日(火)

■会場/同友会事務所

+ウエブ(併用)

限りある資源を、次世代へ
株式会社 エステイビー

Stability Topline Business Co.,Ltd.

Zero Emission

産業廃棄物収集運搬
産業廃棄物リサイクルの提案
一般貨物自動車運送
塗装プラント清掃

〒379-2123
前橋市山王町1-19-14
TEL 027-212-3312
FAX 027-266-8288
http://www.s-t-b.jp

アルミ精密部品の切削加工メーカー

株式会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします!

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
URL : http://www.apm-f.com E-mail : fuse@apm-f.com

軽量鉄骨システム建築 プレハブハウス

用途に合わせ自由設計、コスト削減(事務所、店舗、倉庫、他)

プレハブパネル工法は規格部材を工場生産 経済性に優れ、短工期

株式会社 三栄工業

〒378-0002 群馬県沼田市横塚町 896-2
TEL. 0278-20-1110 FAX. 0278-22-2102
URL http://kk-sanei.net/

『同友ぐんま(通常号)』広告募集

【広告料】2万円(一口×6回掲載)

【スペース】縦44mm×横87mm(一口分)

*掲載を希望される場合は、同友会事務局までご連絡をお願いいたします

群馬中小企業家同友会・事務局
TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666